

明日の劇場へ

into

[イントウ]

兵庫県立ピッコロ劇団後援会
ピッコロサポートクラブ機関誌

2024.4

vol. 85



Contents

- 兵庫県立ピッコロ劇団第79回公演
「あしあとのおと、ものがたり」 1
- 兵庫県立ピッコロ劇団
ファミリー劇場
「さらって行ってよピーターパン」 6
- 兵庫県立ピッコロ劇団第80回公演
尼崎市第8回「近松賞」受賞作品
「宇宙に缶詰」 8
- ピッコロサポートクラブ 10
- ピッコロシアター催物/学校/資料室 12
- 劇団員あれこれ 14
- シリーズ探訪49
- 「やっぱりここが好き!!」 20

兵庫県立ピッコロ劇団第79回公演

「あしあとのおと、ものがたり」



ピッコロシアター／兵庫県立ピッコロ劇団
〒661-0012 尼崎市南塚口町3丁目17番8号
Tel:06(6426)1940 Fax:06(6426)1943

<https://piccolo-theater.jp>

地域とともに歩む



キッチンカー

けやきアベニュー

第2グラウンド

クリエイティブ commons

そのだクライストチャーチキャンパス

情報教育センター

そのだ子育てステーションびびよ

大講義室

- 園田学園女子大学 ○園田学園女子大学短期大学部
- 園田学園高等学校 ○園田学園中学校
- 園田学園女子大学附属園田学園幼稚園
- 園田学園女子大学附属学が丘幼稚園

〒661-0012
 兵庫県尼崎市南塚口町1-24-16
 TEL : 06-6427-7848
 FAX : 06-6427-7250
<https://www.sonoda-u.ac.jp>

SONODA
 学校法人園田学園

兵庫県立ピッコロ劇団設立 30 周年記念
 兵庫県立ピッコロ劇団第 79 回公演

作=山本正典 (コトリ会議)
 演出=原 竹志 (ピッコロ劇団)

あしあとの おと、 ものがたり

あと少しだけ ここにいて
 あと一秒だけ みえていて

山本正典が柳田國男「遠野物語」から着想し
 ピッコロ劇団に書き下ろす「とおのものがたり」

日 時	2024 年 5月31日(金) 19時
	6月 1日(土) 14時
	2日(日) 11時
	8日(土) 14時★
	9日(日) 14時★

*開場は開演の 30 分前

会 場	ピッコロシアター 大ホール
料 金	全席指定 (税込)
	一般 3,500 円
	大学生・専門学校生 2,500 円
	高校生以下 2,000 円
※未就学児のご入場はご遠慮ください。	

★音声ガイドサービスあり
 視覚に障害のある方の鑑賞をサポートする音声ガイドをご用意します。舞台上の風景や登場人物の動き、表情などをリアルタイムでお伝えします。(台本・ナレーション 菅原ゆうき)
 要事前申込・締切 6/1 (土) TEL06-6426-1940

チケット取扱い▶

- ピッコロ劇団
 - ピッコロシアター窓口
 - 電話 06-6426-8088 (9:00~21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)
 - メール gekidan-p@hyogo-arts.or.jp (件名を「あしあと」としてください)
 - 記入事項 ①予約者氏名 ②電話番号 ③観劇日時 ④券の種類・枚数
 - ※3営業日以内に返信がない場合はお問い合わせください。
 - ※ピッコロサポートクラブ会員は会員種別により招待または1割引(ピッコロ劇団のみで取扱い)
- プレイガイド (WEBのみで取扱い)
 - チケットぴあ <https://t.pia.jp>
 - ローソンチケット <https://l-tike.com>
 - e+ (イープラス) <https://eplus.jp>

出演

どおのものがたり 遠野物語 谷口 遼
まのじつ 真野実 樫村千晶
まのせみ 真野蟬 有川理沙
はねむらたひかり 羽村田光 今仲ひろし
どおや さよ 十夜小夜 木下鮎美
どおや いちろう 十夜一廊 森好文



どおや むつこ 十夜睦子 亀井妙子
おんな ひと 女の人 鈴木あぐり
はふりよ 祝世 吉江麻樹
ことつて 事伝 三坂賢二郎
さち 幸 木之下由香
まかい 境 岡島大祐

※やむを得ない事情により出演者などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

ものがたり

山に囲まれた在間市では、死んだ人が生き返るという。

ただし、1年だけ。

その夏、大学生の遠野物語(谷口 遼)は、先輩の真野実(樫村千晶)に交際を申し込んだ。

答えは、「1年だけなら」。

一方、祖父母の十夜一廊(森好文)・睦子(亀井妙子)と暮らす小夜(木下鮎美)は、大学受験を控えている。進路志望調査表に勝手に大学名を書かれた小夜は、家を飛び出した。

大事な人とお別れの仕方を、手探りで見つけ出そうとする人たちの物語。

【スタッフ】

美術=池宮城直美 照明=南 亜紀 ((株) ピーエーシーウエスト) 音楽=木下 出 音響=横田和也 (ARTS Inc.)
衣裳=大平順子 (安住の地) 演出助手=中島深志 舞台監督=政香里沙 映像=サカイヒロト
チラシデザイン=小泉 俊 (KODEMA [小泉デザイン製作所]) イラスト=花屋敷 鴨 (コトリ会議)
音声ガイド=菅原ゆうき 鑑賞サポート=古川知可子、新倉奈々子 制作=新倉奈々子 制作助手=山中麻由

速報 アフタートーク実施決定!

6月8日(土)14時の回の終演後、アフタートークを開催します。

登壇 〈作〉山本正典、〈演出〉原竹志、〈ゲスト〉SaringROCK (突劇金魚)

作 山本正典 (コトリ会議)

&

演出 原竹志 (ピッコロ劇団)

インタビュー

二人のこれまでや、『あしあとのおと、ものがたり』の戯曲ができるまでを語っていただきました!



(左から) 原竹志、山本正典

山本さんと原さんの出会いを教えてください。

山本: 原さんが関西の小劇場の劇団に出演しているのを見て、「面白いデカイ人があるな」と思ったのが始まりでした。その後、原さんからコトリ会議を見て「面白い」と言ってもらって、「それならぜひお呼びしよう」となりました。

原: 初めて喋ったのは、観劇帰りにたまたま電車が同じになったとき。「山本くんですね? いつも面白い試みされていますね」みたいな感じで話しかけて。

山本: 握手を求められました(笑)。

進行: 原さんのコトリ会議への出演は、2016年の『あたたかな北上』が最初ですね。

原: そう、そのあと、お互い好きな作品が共通していることなどもわかって。

進行: これまでは原さんがコトリ会議に参加してきましたが、今回ついに、山本さんにピッコロ劇団に作品を書き下ろしていただけることになりました。

『遠野物語』から作品づくりをすることになったきっかけは?

山本: 昔から、地方の昔話や民話のようなものが好きで、僕の地元にもありました。『遠野物語』や柳田國男のことは、前々から知ってはいましたが、実際に読んだのは書店で偶然手に取ったのがきっかけです。数ページ読んで衝撃を受けました。物語がそのままおさめられていて、何かの結論があるわけではない。でも、「小さな物語をどんどん紡いでいくと、人の大きな流れになっていく」というのが面白くて、原さんにも熱弁していたら、「遠野物語で何か書いてみない?」と言ってもらって。

原: 以前から山本くんに書き下ろしてもらった作品を、ピッコロ劇団で上演したいと考えていたので。柳田國男は兵庫ゆかりの人でもあるし、大人だけでなく「ピッコロわくわくステージ」として中学生に団体鑑賞で観てもらうにも、良いんじゃないかと思いました。

山本: でも最初は、「原さん無理ですよ、遠野物語は演劇でやるものじゃない」という話をしました(笑)。「あれは読むものだ」と。

原: たしかに、舞台上山男や雪女が出てきたり、もしくは柳田國男が出てきたり・・・みたいなことは、違うかなと。それで今回は、『遠野物語』の話をそのまま扱うのではなく、そのエッセンスのようなものを取り出して、何か新しいものを作ろうということになりました。

『あしあとのおと、ものがたり』に込められた、『遠野物語』のエッセンスとは？

山本：『遠野物語』では、そこで生きる人の営みが、人ではない何かの存在によって、ふと分断される世界が、ただ純粹に描かれています。それがエッセンスではないかと思います。

原：異界と日常生活とが地続きですよね。今回、『あしあとのおと、ものがたり』を観てくださる方にも、これが地続きの話になればいいなと考えています。『遠野物語』と聞いて身構える方がいらっしゃるかもしれませんが、気張らずに観に来ていただけたら嬉しいです（笑）。

進行：原さんは岩手県遠野市にも足を運びましたよね。

原：そうですね。印象的だったのは、石が本当にたくさんあったこと。石碑群もあるし、地図に書かれていないところにも、すごくたくさんあって。

山本：たとえば天狗と出会った場所に石を置くとか、石は「向こう側」との境界の印になるんですね。そういう意味では、石がたくさんあるということは、そこかしこに物語があると云えるかもしれません。

原さんにとって、山本さんの作品の魅力はどこなところですか？

原：まずは出演する役者としての面白さがあります。台本の言葉を、自分自身の感覚と繋げながら言うときに、発話することよりも、発話する体の状態を問題にすることができる。僕が今、役者として大事にしたいと思っていることなんです。そして山本くんは言葉の「なにか」を持っている作家だと感じています。どこの台詞をポンととっても、自分の人生の「なにか」に突き当たる。山本戯曲に出てくる火星や宇宙といったものも、そんなはずはないんだけど、日常生活と地続きのままどこかに連れて行かれる感じがあって。登場人物同士の対話や、ときに群唱で語られる「詩」の力で、日常の関係性をもうひとつ上の段階に引き上げたりする。それが魅力だと思います。

作 山本正典 (やまもと まさのり)

福井県出身。作家・演出家・俳優。劇団コトリ会議所所属。
物語を形づくるあらゆる表現手段のなかから、「演劇」として成立する表現を追求。その手法は「現世と死後の世界」「地球と宇宙」など異なる世界で交わされる会話を描くことで、人の普遍的な感情を浮き彫りにし、改めて人の感情の奇怪さや、人の性質の不思議さにおかしさを交えて提示する。
第9回せんがわ劇場演劇コンクール劇作家賞受賞。
第27回OMS戯曲賞大賞受賞。

演出 原竹志 (はら たけし)

兵庫県出身。ピッコロ演劇学校卒業後、2002年ピッコロ劇団入団。
劇団公演にて多数メインキャストをつとめると同時に、関西小劇場の公演にも積極的に出演。
また、オフシアター公演やおでかけステージ（小学校公演）では台本や演出を手掛け、さまざまなアプローチで劇づくりに取り組んでいる。
2022・2023年おでかけステージ『タラレバ幽霊とタカラの山』でも台本・演出をつとめた。
2021年度～コトリ会議所役員。今年、第26回関西現代演劇俳優賞 大賞を受賞。

柳田國男と『遠野物語』

柳田國男 (やなぎた くにお)



1875年（明治8年）、現在の兵庫県神崎郡福崎町（当時の飾磨郡神東郡辻川村）の代々医者の子に生まれ、13歳までを兵庫の地で過ごした。15歳のころ森鷗外と出会い、また田山花袋、国木田独步、泉鏡花らと交流を深め、自らも雑誌に詩を発表した。東京帝国大学で農政学を学んだ後、農商務省に勤務。以後、全国の農村地域を旅するようになる。

1910年（明治43年）、『遠野物語』を刊行。

退官し、朝日新聞社の客員となるが、退職後にはいっそう民俗学に専念。それまでの日本では、歴史研究といえば社会や政治の動向が取り上げられていたが、柳田は“普通に生きる人々の歴史を知ることこそが、日本人を知ることである”と考えた。雑誌創刊や、民俗学研究グループの拡大に取り組み、日本各地の伝承を記録した多くの著作を発表。日本民俗学を確立した。

1962年（昭和37年）、87歳で死去。

『遠野物語』（1910年刊行）

柳田國男が、現在の岩手県遠野市の民間伝承を、遠野の出身である佐々木喜善（鏡石）から聞き、まとめたもの。（のちに佐々木は、民話研究家として多くの業績をのこし、「日本のグリム」と称されている。）

山や里の神、天狗、山男、河童、座敷童、雪女など「人でない存在」や神隠し等の出来事、また年中行事などが109の短い文章で語られており、その内容は多岐にわたる。

『遠野物語』の冒頭で、柳田は次のように語っている。

この話はすべて遠野の人佐々木鏡石君より聞きたり。昨明治四十二年の二月ごろより始めて夜分おりおり訪ね来たりこの話をせられしを筆記せしなり。鏡石君は話上手にはあらざれども誠実なる人なり。自分もまた一字一句をも加減せず感じたるままを書きたり。思うに遠野郷にはこの類の物語なお数万件あるならん。我々はより多くを聞かんことを切望す。国内の山村にして遠野よりさらに物深き所にはまた無数の山神山人の伝説あるべし。願わくはこれを語りて平地人を戦慄せしめよ。

柳田は、献辞で「この書を外国に在る人々に呈す」とも述べており、西洋にばかり目を向ける社会を憂い、平地人＝都市に生きる人々を揺るがすべく、『遠野物語』を発表した。

揺らいだ先に見えるのは、当時も、そして現代の我々にとっても、“失ってはならない何か”かもしれない。

兵庫県立ピッコロ劇団設立 30 周年記念 兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場
一般財団法人尼信地域振興財団助成公演 2024 ピッコロフェスティバル特別企画

さらっていったよピーターパン

作=別役実 演出=眞山直則 (ピッコロ劇団) 音楽=谷川賢作

さらっていったよピーターパン！ そう、めざすはあなたの国ネバーランド。行き方は知ってる。ふたつ目の角を右へ曲がって、朝までまっすぐのところ……。これは、日本を代表する劇作家で童話作家の別役実がこしらえた、大人も子どもも最高に楽しいピッコロ版のピーターパン！

ものがたり

おなじみのピーターパンのお話である。

とはいっても、ピーターパンもすっかり大人しくなって、相変わらず夜中に子ども部屋に忍び込み、子どもたちをさらってネバーランドへ連れ出してくれるものの、ちっとも冒険をさせてくれない。

でも、そこはネバーランド、冒険は向こうからやってきて、ピーターパンも子どもたちも、海賊たちと闘うことになるのだが…。



別役実
©Haruki Shimokoshi

演出 眞山直則



ピーターパンを皆さん楽しんでもらいたくて、ネバーランドを勉強しています。信頼する本には、まじめにこう書かれていました。「ネバーランドはなにもかもめっちゃくちゃ！」「誰もじっとしていない、みんな遊んでるでたらめな場所」……ちょっと待って。めっちゃくちゃって、勉強できるの？まじめに遊ぶだなんて、無理なゲームじゃない？でたらめランド。ネバーランド。ごちゃごちゃがキラキラですよ。さあ永遠につづく冒険の島へ、ようこそ。

プロフィール

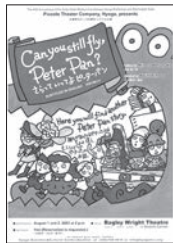
1975年宮城県仙台市生まれ。慶應義塾大学在学中に文学座附属演劇研究所で学び、1999年にピッコロ劇団入団。演出家。平成29年度尼崎市芸術奨励賞受賞。ファミリー劇場「さらっていったよピーターパン」(作=別役実)、おでかけステージ『ピッコロ版・星の王子さま』(台本=原竹志)、オフシアター Vol.35 『炎の人-ゴッホ小伝-』(作=三好十郎)、オフシアター Vol.38 『月光のつしみ』(作=岩松了)、第76回公演『やわらかい服を着て』(作=永井愛)などを演出

公演ちらしで振り返る『さらっていったよピーターパン』

演出：秋浜悟史 音楽：氷見嘉章

1997年 ピッコロシアター、大阪
1998年 ピッコロシアターはじめ県内4か所、東京、大阪、愛知

演出：石本興司
音楽：氷見嘉章



2002年 ピッコロシアター、大阪、沖縄
2003年 ピッコロシアターはじめ県内3か所、アメリカ・シアトル
2003年8月シアトル公演ちらし
英題『Can you still fly, Peter Pan?』
イラスト・デザイン オケモトタカコ



1997年初演時ちらし
(絵：田中徳喜)

演出：森田守恒 音楽：氷見嘉章

2010年
ピッコロシアター、
愛知、千葉、西宮



2010年ちらし
宣伝画：風太郎

演出：眞山直則 音楽：氷見嘉章



2015年
ピッコロシアター、西宮

2015年ちらし
宣伝画：風太郎
チラシデザイン：チャーハン・ロモーン

2024年、そして新しい

さらっていったよピーターパン

出演



ピーターパン
森好文



ティンカーベル
野秋裕香



ウェンディ
鈴木あぐり



ジョン
三坂賢二郎



マイケル
谷口遼



ナナ
吉村祐樹



父
今仲ひろし



母
櫻村千晶



フック船長
岡田力



海賊チェコ
風太郎



海賊ジュークス
菅原ゆうき



海賊クックソン
浜崎大介



ワニ
岡島大祐



ピカニニ族長
吉江麻樹



タイガー・リリー
有川理沙



リーナ・ウルフ
木下鮎美

子どもはみんな大人になります。
大人にならない子どもはひとりだけ——
(J・M・バリ)

※やむを得ない事情により出演者などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【スタッフ】美術：柴田隆弘 照明：皿袋誠路 (㈱ピーエーシーウエスト) 編曲：橋本賢悟 音響：三宅住絵 (campana)
衣裳：木場絵理香 振付：福島直美 歌唱指導：中島恵美 舞台監督：北村侑也 (匿名劇団) 演出助手：中島深志
宣伝美術：風太郎 制作：河東真未 制作助手：銭 大亮

会場 ピッコロシアター 大ホール
*開場は開演の30分前

日時 2024年8月3日(土) 11:00 / 15:00
4日(日) 11:00 / 15:00

全席指定(税込) 一般 2,500円 / 高校生以下 1,500円 / セット券(一般+高校生以下) 3,500円

※3歳以上有料。3歳未満でもお席が必要な場合は有料。

※ピッコロサポートクラブ会員は会員種別により招待または1割引(ピッコロシアターのみで取り扱い)

チケット予約開始

6月23日(日)

ピッコロサポートクラブ会員先行予約 6月22日(土)

〈チケット取り扱い〉

●ピッコロシアター窓口/電話 06-6426-8088 (9:00~21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)

●メール gekidan-p@hyogo-arts.or.jp (タイトルを「ピーターパン」としてください)

記入事項 ①予約者氏名 ②電話番号 ③観劇日時 ④券の種類・枚数 *3営業日以内に返信がない場合はお問い合わせください。

●その他プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp>

(WEBのみで取扱い) ローソンチケット <https://l-tike.com>

e+ (イープラス) <https://eplus.jp>

主催：兵庫県立尼崎青少年創造劇場



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

尼崎市・公益財団法人尼崎市文化振興財団・兵庫県立尼崎青少年創造劇場 共催事業
兵庫県立ピッコロ劇団設立 30 周年記念 兵庫県立ピッコロ劇団第 80 回公演 尼崎市第 8 回「近松賞」受賞作品

宇宙に缶詰

作=肥田知浩 演出=サリngROCK (突劇金魚)

遠い宇宙に送られた小さな探査機。
そのメモリには、ひとりの男の脳みそが丸ごと記録されていた。
男が地球で過ごした日々が、いつか地球で見た風景が、異星の空間に浮かび上がる…

応募 107 作の中から第 8 回「近松賞」に輝いた戯曲
ピッコロ劇団で上演決定！

会場 ピッコロシアター
大ホール

2024 年
日時 9月14日(土)～16日(月祝)、18日(水)
※17日(火)は休演日

出演



孫 高宏 谷口 遼 木下 鮎美 今仲ひろし 櫻村千晶 木之下由香
森 万紀 鈴木あぐり 吉江麻樹 原 竹志 三坂賢二郎 吉村祐樹
浜崎大介 風太郎 森 好文 岡田 力 有川理沙 岡島大祐

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

自動車整備のことなら……

サトウオートサービス

◆営業時間◆ 午前9時～午後6時

〒661-0978 尼崎市久々知西町1-4-4

☎06-6420-8972(代)



ヤマハサウンドシステム株式会社

大阪営業所 大阪市淀川区西中島 4-7-18



あなたの
人生を
後世に
つたえる

神戸078・871・0551
自費出版のご相談は
みるめ書房

Panasonic

メンテナンスからリニューアルまで
最適な舞台・スタジオ照明設備環境を
ご提供致します。



景観・
スポーツ
照明

サイン
設備

演出
設備

パナソニックEWエンジニアリング株式会社 近畿支店
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 OBPパナソニックタワー9F
TEL(06)6910-0177

舞台美術・舞台技術・舞台制作
照明・音響・映像

KISS

神戸国際ステージサービス株式会社

代表 ☎078-994-1855

本社/神戸市西区見津が丘1丁目16番地の2

Stage Sound Lights
Engineering&Equipment
Event Plan&Management
<http://www.pacwest.co.jp>

PAC WEST

ほりべ運送株式会社

※小さな单身引越し 室内の家具移動 大きな事務所移転
楽器類や催し物の備品類移動まで

TEL: 0120-88-1290

FAX: 06-6428-0035

お見積もりは無料です!
まずはご相談して下さい

ピッコロ劇団 今後の公演ラインナップ

対象公演 A・J・特別・法人会員は、下記の対象公演から年間3本の公演をお選びいただき、種別・口数に応じてご招待します。

対象公演	5・6月	第79回公演 あしあとのおと、ものがたり	作=山本正典 (コトリ会議) 演出=原 竹志 (ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 大ホール 福岡町エルデホール 赤穂市文化会館 赤穂化成 ハーモニーホール 大ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞) としても上演
対象公演	8月 11・12月	ファミリー劇場 さらって行ってよピーターパン	作=別役 実 演出=眞山直則 (ピッコロ劇団) 音楽=谷川賢作	8月 ピッコロシアター 大ホール 12月 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞) としても上演
対象公演	9月	第80回公演 尼崎市第8回「近松賞」受賞作 宇宙に缶詰	作=肥田知浩 演出=サリngROCK (突劇金魚)	ピッコロシアター 大ホール
対象外	10・11月	おでかけステージ 学校ウサギをつかまえろ	作=岡田 淳 (偕成社 刊) 台本=眞山直則 (ピッコロ劇団) 演出=吉村祐樹 (ピッコロ劇団)	兵庫県内の小学校など
対象公演	2025年 2月	第81回公演 ピッコロシアタープロデュース 神戸 わが街	潤色=別役 実・ピッコロ劇団 演出=吉村祐樹 (ピッコロ劇団)	兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

NEWS

■第26回関西現代演劇俳優賞大賞 受賞 原 竹志

2023年の1年間に行われた関西の劇団、及びプロデュース公演に出演した関西の俳優を対象として、年間のベストアクターを選出する関西現代演劇俳優賞(現代演技論研究会主催)。第26回の今回は原 竹志が大賞を受賞しました。第76回公演『やわらかい服を着て』夏原一平役における、正義感の強いリーダー像を知性と愛嬌の溢れる演技で表現し、人間味あふれる造形を作り上げたことが高く評価されました。



(左から) 演出の眞山直則、共演者の谷口 遼、原 竹志、櫻村千晶

■令和5年度ピッコロ・山根演劇賞

演劇を愛し、演劇人の育成に長年努めた故 山根淑子館長の名を遺す「ピッコロ・山根演劇賞」。昨年度もっとも活躍した劇団員に送られる賞で、原 竹志と政香里沙が受賞しました。



ピッコロサポートクラブ会員募集

ピッコロ劇団が観客の皆様と交流を深めていくために発足したピッコロ劇団後援会(ピッコロサポートクラブ)。お得な数々の特典で、ピッコロシアターの催し物をお楽しみいただけます。これからもう一層内容の魅力アップをはかります。

●おもな特典(会員ごとに異なります)

- ・ピッコロ劇団公演へのご招待または割引、優先予約
- ・ピッコロシアター自主事業の割引、優先予約
- ・ピッコロシアター利用券(500円分)進呈
- ・ご来場回数に応じて、記念品を進呈
- ・ピッコロシアター催物案内や機関誌の送付
- ・ピッコロ劇団員との交流会へのお誘い

●種類と年会費及び特典

- ・A会員(個人) 6,000円
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・B会員(個人) 2,000円
ピッコロ劇団公演の割引(ご本人・同伴者とも1割引)
- ・J会員(高校生以下の個人) 4,000円
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・特別会員(個人) 10,000円
ピッコロ劇団公演3作品に2名ご招待(同伴者1割引)
- ・法人会員(企業・団体) 20,000円
ピッコロ劇団公演3作品に4名ご招待(同伴者1割引)

- お問い合わせ/詳しいご案内をお送りします!
ピッコロサポートクラブ事務局 TEL.06-6426-8088

ピッコロサポートクラブへようこそ!

ピッコロ劇団を支援してくださっている法人会員

尼崎商工会議所/尼崎信用金庫/
株式会社尼信経営相談所/
尼信ビジネス・サービス株式会社/尼信ビル株式会社/
尼信保証株式会社/尼信リース株式会社/
尼崎ホテル開発株式会社 ホテルヴィスキオ尼崎/
石光商事株式会社/株式会社柄谷工務店/
株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎/
株式会社小西印刷所/学校法人園田学園/
株式会社つむら工芸/東洋装備株式会社/
ナチュラルカフェ+b/西北活性化協議会/
株式会社日興商会/日興油脂株式会社/
公益財団法人ニッセイ文化振興財団/
株式会社ハーツ/株式会社ピーエーシーウエスト/
日之出商事株式会社/ひょうご県友会神戸支部/
ひょうご県友会阪神支部

今後ともご支援お願いします。(敬称略) R6.3.15 時点

サポーターズ・ヴォイス

●ピッコロ劇団第78回公演/ピッコロシアタープロデュース『ロボット-RUR-』感想
(2024年2月23日(金祝)~2月25日(日)兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール)

- ・便利になった世の中に対して、人間が産み出したもので失うものもあるということ、色んな意味で考えさせられる公演でした。
- ・舞台装置からワクワクしました。100年前に書かれたとは思えないほど現実味を帯びていて、惹きこまれました。歴史は繰り返す、それはロボットになっても同じという、リフレインのかけ方に驚きました。



- ・ロボットを見ているのに人間のおろかさを見ているようでした。どうしてロボットにあげられるものが、痛みと憎しみと武器だったのか!どうして愛と楽しみをあげられなかったのか、と思っていたので、ラストに救われました。
- ・シンプルな舞台と、映像が効果的に使われていて良かった。オープニングもおもしろく、芝居(テーマ)の世界に引き込まれた。100年以上前に書かれた作品というのは驚き。「生きること」「死ぬこと」を深く考えさせられ、感動した。
- ・舞台装置が現実から離れた空間を想像させる。ロボットと人間の対比がよくできている。本当に人間の行く末を考えさせられた。



お寄せいただきましたご意見を参考に、今後もより良い作品づくりに劇団員・職員一同励んで参ります。ご観劇いただきました皆様ありがとうございました。

ピッコロシアター鑑賞劇場

ピッコロ寄席

『塩鯛 米紫 二人会』

桂ざこば一門の筆頭弟子で上方落語の本格派 桂塩鯛と、その筆頭弟子で今年断家生活 30 周年を迎える桂米紫による二人会。

【日時】 5月25日(土) 14:00

【会場】 ピッコロシアター 大ホール

【料金】 全席指定

一般 3,000 円 高校生以下 1,500 円

【出演・演目】 オープニング 師弟ご挨拶あり

開口一番 桂二豆

「遊山船」他一席 桂米紫

「らくだ」他一席 桂塩鯛



桂 塩鯛



桂 米紫

ピッコロ寄席

桂枝雀一門

『南光・雀三郎・文之助 三人会』

稀代の爆笑王：桂枝雀の名を遺す会として毎年開催。今年は、枝雀直弟子筆頭からの3名が揃う充実の三人会。枝雀一門ならではの味と、各人各様の魅力が重なり光る会にどうぞご期待ください。

【日時】 8月17日(土) 14:00

【会場】 ピッコロシアター 大ホール

【料金】 全席指定

一般 3,000 円 高校生以下 1,500 円

【出演】 桂南光・桂雀三郎・桂文之助ほか

【発売日】 6月13日(木)



桂 南光



桂 雀三郎



桂 文之助

ひょうごプレミアム芸術デー

ピッコロシアター文化セミナー〈103〉

作家 玉岡かおるさんに聞く

舞台に魅せられて

～観客席から舞台制作にジャンプ！～

第一線で活躍する著名な舞台人、作家、評論家の方々の話を伺う教養講座。開館以来続く名物企画。

シリーズ 103 回目のゲストは、兵庫在住の人気作家・玉岡かおるさんをお迎えします。



玉岡かおる

【聞き手】 富居雅人(神戸新聞社)

【日時】 7月13日(土) 14:00

【会場】 ピッコロシアター 大ホール

【料金】 無料(要申込・先着 400 名)

【受付開始】 6月2日(日)

ピッコロ ベイビー・プログラム

ヒョーゲンアソビノバ

こどももおとなもひとりひとりそれぞれがそれぞれの表現を安心して楽しむための表現遊びの場。ヒョーゲンアソビの仲間がご一緒に！

【日時】 7月13日(土)

① 10:30～12:30

② 13:30～15:30

【会場】 ピッコロシアター 中ホール

【参加費】 無料

【対象年齢】 0歳～年長のお子さんと保護者

【定員】 各回 20 組

【受付開始】 6月2日



ピッコロ実技教室

40 歳からのワンコイン演劇講座

ミドル・シニア世代で演劇に興味のある方や初心者大歓迎！1日だけの演劇講座。

【日時】 8月11日(日)
10:00～16:00

【会場】 ピッコロシアター中ホール

【講師】 瀬口昌生(大手前大学建築&芸術学部准教授/元ピッコロ劇団員)

【募集人数】 要申込先着 20 名(原則 40 歳以上)

【参加費】 500 円



まわしよみ新聞&演劇

～壁新聞を演じてみよう～

壁新聞づくりと演劇を組み合わせたワークショップ。みんなで読んで、みんなで演じよう！

【日時】 8月18日(日)
10:00～16:00

【場所】 ピッコロシアター 中ホール

【講師】 陸奥 賢(まわしよみ新聞考案者)

三坂賢二郎(ピッコロ劇団)

【募集人数】 要申込 先着 20 名(高校生以上)

【参加費】 一般 1,000 円 高校生 500 円



ちょっと！狂言～入門編～

2日間・10時間で狂言の基礎知識から簡単な実技までを「観て、聴いて、演じて」楽しめる！

【日時】 8月24日(土) 11:00～16:00

8月25日(日) 11:00～16:00

※2日間の連続講座

【会場】 ピッコロシアター 大ホール

【講師】 能楽師大蔵流狂言方 善竹隆司

【募集人数】 要申込 先着 30 名(小学生以上)

【参加費】 一般 3,000 円 高校生以下 2,000 円



オペラの楽しみ方

関西二期会オペラ研修所修了オペラ公演の作品解説とリハーサル見学

【日時】 8月30日(金)

【会場】 ピッコロシアター 中ホール

【募集人数】 先着 100 名

【参加費】 無料(要申込)

関西二期会オペラ研修所
第 60 期生修了オペラ公演

【日時】 8月31日(土)

【会場】 ピッコロシアター 大ホール

2024 ピッコロフェスティバル
〈県民参加企画〉出演団体募集

日頃の練習の成果をピッコロシアターで発表してみませんか？

【演劇部門】 ①小学・中学・高校

②大学・一般

【応募資格】 地域で活動する劇団・演劇部など(アマチュアに限る)

【上演日・会場】

①8月21日(水)・22日(木) 大ホール

②8月6日(火)～9日(金) 中ホール

期間内で1日間

【応募締切】 5月31日(金)

● お問合せ・お申込み ●

ピッコロシアター

TEL 06-6426-1940 FAX 06-6426-1943

(9:00～21:00/月曜休館 ※祝日の場合翌日)

最新情報はホームページで! <https://piccolo-theater.jp>

学



『ご近所アート結び』～アートの世界を楽しもう!～
演劇ワークショップ『伝えてみるって、ちょっと楽しい』が2024年1月13日に開催され、本田千恵子が講師を務めました。

11月から1月1回行われた『ご近所アート結び』。「音楽」・「絵と工作」に続き、最終プログラムの「演劇」を担当しました。“アートを体験しながら新たな繋がりを”というこの企画は、神戸市の住宅街にある「子どもの居場所 kiten (きてん)」で開催。ご自宅を改造されたその場所はまるで素敵な秘密基地。kitenの居心地の良さ×参加者の方々のエネルギー&発想力=笑いの絶えないあっという間の時間となり、「初めて会った人達と最後は旧知の様に話せる素晴らしい体験」「ホットで優しい繋がりが生まれた」「アートの可能性の広さが短い時間にとってもよかったです」等、嬉しい感想を頂きました。

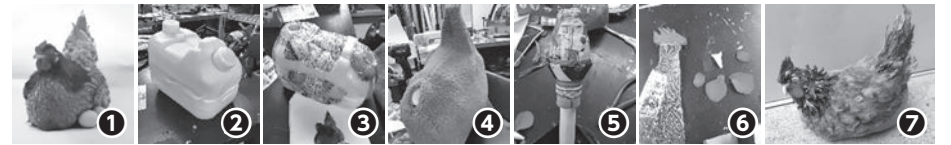
事前に主催の方々にワークを体験して頂き、何を目的としどんな内容を行うか、地域課題は何か等のイメージ共有を行っていました。このような活動では共に考え連携する、アーティストを含めた主催側のチーム作りが鍵。今回主催の皆様のご理解・ご協力に心から感謝申し上げます!



技



様々な公演でいつも細部までこだわって小道具製作を手がける岡田 力。2月に上演を終えた『ロボット-RUR-』で登場した、ニワトリが完成するまでを教えてくださいました。



ブスマンが序盤で抱えていた鶏。正味30秒ほどの出番でしたが気づきましたか?

「とにかく本物に見える鶏を」という演出からのリクエストでした。

①を見本に、生きているように見せるため、首を自在に動かせるものを作ります。内部を空洞にするためポリタンクを元に②、古新聞で肉付け③、不要になった毛布で覆い④、体を製作。可動式の首は棒の先に空き缶と木粘土で原型を作り⑤、みかんネットにちりめん布で作ったトサカ、肉だれ、嘴を付け⑥、被せます。ネットに紙の紐で作った羽根を一枚ずつ植毛し、目玉をつけ、色塗り。給油口に棒を差し込み、お腹に突っ込んだ手で棒を動かせば首が動く仕組み。胴体部分は尾の羽根だけ本物、あとはわたで羽根のディテールを作り、着色して完成⑦。作り終えて演出に見せたら「やっぱり白いニワトリの方が良かったかもなあ」と言われました。なんでやねん…

談



2024年1月に、劇団創立30周年や阪神・淡路大震災の被災地激励活動などについて、平井久美子、孫高宏、吉村祐樹が新聞の取材を受けました。平井久美子に、活動を振り返って今思うことを聞きました。

「演劇は力なり」と題して話されていた、ピッコロ劇団創設者の一人である秋浜悟史初代劇団代表(故人)の、肉声音源を数週間前に偶然入手した。その中に、阪神・淡路大震災時にピッコロ劇団が行った被災地激励活動について語っておられる箇所があったので、ほんのさわりだがお届けしたいと思う。

“議論するよりまず見てくるべきだ。現地が欲しがり私たちが応えられそうな何かをそこで見つけるべきだ。善かれ悪しかれこの目に見たものをもっと広くに伝えるのが芸術に携わるものの義務ではないか。公立は、より弱い人、より恵まれないところへの目配りに終始して良い、そう思っている。『自分たちはいいことをしてるってツラ、絶対さらすなよ』芝居は楽しみを提供するものだが、無理強いするものではない。”

このような導きがあり、激励活動を行うことができた。激励とは、人を励まし、奮い立たせること。相手を思い一心に励むこと。あの活動が、演劇が、何かのお役に立てていたのなら幸いです。



学



2024年1月21日と2月4日の2日間、日本劇団協議会やってみようプロジェクト『ワークショップ にほんごであそぼう!』として、本田千恵子、菅原ゆうき、鈴木あぐりの3人で加東市へ行ってきました。久しぶりに助手として参加した鈴木あぐりに振り返ってもらいました。

「瞬間のキラメキと継続」加東市でのワークショップが終わって家に帰り、この言葉をまずノートに書きました。本田さんと菅原さんと一緒に、何回も打ち合わせを重ねて臨んだ『ワークショップ にほんごであそぼう!』。私がこの取り組みを知ったのは、劇団に入った2020年。参加するはずが、色んな事情も重なって、中止になってしまい…。念願叶って、四年越しにやっと参加できました!

様々な国籍の人たちが集って、コミュニケーションを取り合う。そして初めましての緊張で硬かった心が、ワークを重ねるたびに段々と和らいで、変化していく。その瞬間を見ること、この取り組みの過程を知ることはとても貴重な経験となりました。今思い出しても、みんなの顔、キラキラでした。

そして瞬間の発想力と瞬発力、私も鍛えねばと痛感…。

加東市と国際交流協会、そしてピッコロ劇団の三者が、今後ともこの取り組みに対しどう動いていくのかに繋がる、良い時間になったはず…!

色んなキラメクトキメク可能性に挑戦し続けたいです。



学

2024年3月2日、3日の2日間、ピッコロシアター大ホールにてピッコロ演劇学校本科40期生、研究科39期生、舞台技術学校31期生による合同卒業公演が上演されました。本科主任講師の山田 裕、研究科主任講師の島守辰明にそれぞれ振り返ってもらいました。



『雨降って』

『十二夜』は、最後に道化の歌う歌で締めくくられる。本科の上演ではこの歌を全員で歌うことにした。

松岡和子さんの訳ではこんな歌詞が繰り返される。「…来る日も来る日も雨は降る」

この部分だけではないけれど、「暗い歌詞ですねえ」とよく言われた。これで芝居が終われるの？というニュアンスで。そんなことを言われても原作がそうなのだから仕方ないのだが、一度もそうは思わなかった自分もちょっと感覚がおかしいのだろうか（笑）。

今年の本科卒公は、舞台の外でも中でも本当に沢山の雨が降った。にわか雨から土砂降りまで。

それでも、びしょ濡れになりながらも本科の皆はたくましく舞台に立ち続けた。

最後には、これも原作通りの「拍手の雨」を頂けて本当に良かったね。

うん、終わってみれば雨も悪くない。それがシェイクスピアの言いたかったことだろうと今は勝手に思っている。

皆の今後の人生に大きな虹が架かるよう願っています。

そして、個人的なことですが今回の卒公で本科の講師を退任しました。

自分を鍛え、成長させてくれた、得がたい現場でした。

本当に沢山の本科生との出会いと、温かく見守り支え続けて下さった講師陣、スタッフの皆さま、劇場の皆さまに言葉では表しきれない感謝を。

皆さんとまたどこかで再会できることを楽しみにしています！



今年の卒業公演では、アーサー・ミラー作『るつぼ』を原作とした『悪魔の降りた町』を上演しました。「1年を通して1つの作品に取り組む」というカリキュラムを始めて3年目になります。

ドラマに取り組むための基礎練習を約3か月、夏休みを挟んで9月から戯曲と訓練とを往復しながら一つ一つ階段を登っていく日々が続きました。

アーサー・ミラーの原作に取り組むのは3度目ですが、今回は特に、人々の間に起こる疑心、嫉妬、ねたみ、そして個人的な欲望といったものが如何に現実を歪めていくか、如何にもろく権威が崩壊してしまうのか、がテーマとなりました。見えにくいものをどのように舞台上で視覚化するのか、またどのように演技者が担うのか、どのように化学反応が育っていくのか、今回の研究生たちの取り組みには心から拍手を送りたいと思います。

コロナ禍を過ぎていくなかで、マスク無しで上演することも久しぶりのこととなりました。ゲネプロからマスクを取ったことも、演技には良い影響を与えたと思います。

アーサー・ミラーが赤狩りの時代に警鐘を鳴らした『るつぼ』。人々が「正義」を取り合いながら加熱していく集団ヒステリーの怖さ。普通の人々が巻き込まれていく今の時代も変わらない恐怖を、研究生たちと度々語り合った時間でした。



学



2024年3月23日、24日、尼崎市立中央北生涯学習プラザにて、やんちゃんこ劇団第4回公演が行われました。風太郎が『オズの魔法使い』を脚色した『かなりおかしなオズの魔法使い』の台本、演出を担当し、有川理沙が『アニー』を尼崎に置き換えた『Amanie - とある町の小さな女の子の物語 -』の台本、演出を担当、吉江麻樹が作曲を担当しました。有川理沙に話を聞きました。

やんちゃんこ劇団第4回公演、先日無事に終演致しました！今回やんちゃんこでは初めて、私が脚本と演出を担当させて頂きました。

昨年の今頃、次回作はどんな公演がいいのだろうと沢山の会議を経て決定したのが、『Annie』というミュージカル作品。これを「尼崎」に置き換え、そして子供たちの部分は当て書きにしたら面白くなるのでは！と思い、タイトルも「アニー」ならぬ尼崎の「アマニー」。

風太郎さんが台本を書かれる時によく仰るのが、「書き始めたらその子が勝手に喋るねん」って。「何を言ってるんだらう？（笑）」ってずっと思っていました、いざ書き始めると…そうなんです！その役の子が、脳内で喋りだすんです！（笑）

なんぼでも喋るので、それを台詞にし、簡潔に台本としてまとめていく作業が大変でした。（笑）

やんちゃんこ劇団は、小学生からおじいちゃん、おばあちゃん世代まで幅広い世代が集う劇団です。それぞれの個性を活かしながら、どうのびのびと舞台上に立てるのか、そして、どうしたらこの作品を観たお客さんが笑顔になれるのか、沢山沢山考えました。

千種楽が終わった今でも、写真やLINEが毎日のように届きます。「認知症のおばあちゃんが、この公演を観て元気になった」「発達障害のある子でいつもは全く笑わないのに、笑顔で観ていた」などなど…私の台本の中に「この子には人を笑顔にさせる力がある」という台詞があります。

演劇もそうだと思います。そして、そうであって欲しいと心から願います。

私たちの活動が、誰かの心に届くことを願い、いつまでも続けていけたらと思います。



学



2024年4月12日～14日ピッコロシアター・中ホールにて、オフシアター Vol.40『パレードを待ちながら』が上演されました。これが劇団での初演出となった中島深志に公演を振り返ってもらいました。

劇団に入って2年が経ちますが、演出という立場で公演に携わるのは初めての経験でした。日々稽古見学に来られる先輩たちの視線、そして寄せていただく声。緊張とプレッシャーの毎日が続きました。それでも、一度稽古に入って芝居が始まると、目の前にいる5人の女性たち…家族を戦争に奪われ、一人残された家で彼女たちがぶつける怒りや悲しみ、そして逞しさが戯曲の中から声として聞こえてきて、これを役者たちと共有し、血を通わせる作業に集中することが出来ました。こんなにも緊張した稽古場は今までなかったと思います。でも、こんなにも楽しかった稽古場も今までありませんでした。お力添えいただいたキャスト・スタッフ・劇団員の皆さま。そして何より、ご来場いただいたお客様に感謝いたします。ありがとうございました。



告

2024年3月末付けで平井久美子、本田千恵子、杏華、山田 裕、橋 義、車 貴玲が退団いたしました。これまでご支援くださったお客様へ、6人からご挨拶申し上げます。



平井久美子

劇団の創立時に入団し30年間、数々の芝居に携わらせていただきありがとうございました。本当に色々ありました。開演30分前に、長台詞の変更があり震えそうになりながら舞台上に立ったり、次のシーンで使う小道具を袖に持ち帰り迷惑をかけてしまったことや、ある海外公演では、船便で送られた舞台装置が着港日に届かず焦った事など、今思えば全てが思い出です。これまで関わってくださった皆様、ご支援くださった皆様に心から感謝申し上げます。



本田千恵子

公演・ワークショップ・大学・演劇学校・司会等の様々な場で沢山の方々と出会い、過ごした時間。国体の司会や芸術奨励賞受賞等の身に余る程の経験。全てはこの劇団に居たからこそ。全てが私の財産であり、今の私を形作りました。在団26年間に会った皆様、出会えた場所全てに心から感謝申し上げます。今後は故郷・東京へ戻り、引き続き演劇と社会、劇場と地域に拘り、人材育成に携わって参ります。26年間ありがとうございました！



杏華

21年間、様々な舞台、指導業務等に関わらせていただきました。ここでお名前を一人一人書いたらinto1冊分まるまる『杏華のお世話になった方々特大号』になるくらいの沢山の方々に世話になりました。演劇をしたくて劇団に入りましたが、演劇を通して人としてどう生きるかを学ばせていただきました。学び半ばで劇団を去りますが、全部の経験がかけがえのない宝物です。頂いた宝物と共に新しい場所で引き続き精進します。出会った全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



山田 裕

長年に渡り、劇場では温かい拍手やお声掛けを頂きありがとうございました。また、ワークショップや学校現場でも沢山の出会いや多くの方のご協力を頂きました。劇団で得たものを次につなげられるように努力して行きたいと思っております。またどこかでお会いしましょう！



橋 義

20代で入団し、早いものでもう40代中盤、10月には45歳、四捨五入すれば50歳です(笑)。それは少しオーバーかもしれませんが、次の一步を踏み出すのであれば今だなと思いついて退団を決意しました。いくつになっても変化は怖いものですが、演劇というものに携わった経験がこれからの人生を切り開いてくれると信じています。18年間本当にお世話になりました。ありがとうございました！



車 貴玲

ピッコロ劇団の舞台を観劇し、「ここでお芝居がしたい!」と思い入団して早7年。新たな道へ進むことを決心しました！辛いこと、苦しいこと、悔しさで悩んだ日々も、今思えば全て良い思い出！他の人は味わえないような経験を、素敵な出会いもあり、本当に幸せで学びの日々でした。あの頃よりずっと成長できたはず！笑 これからも“表現”は続けていくので、引き続き温かく見守って頂けたら幸いです。本っっ当にありがとうございました！

動

2023年度指導

■西宮市立西宮東高等学校
文化祭上演事前指導
講師=島守辰明
日程=24.3.6

■兵庫県立伊丹北高等学校
文化祭上演事前指導
講師=山田 裕 日程=24.3.18

2024年度指導

■ピッコロ演劇学校本科
講師=菅原ゆうき、木之下由香、木村美憂
日程=通年

■ピッコロ演劇学校研究科
講師=島守辰明、谷口 遼 日程=通年

■兵庫県立宝塚北高等学校
講師=孫 高宏 日程=通年

■兵庫県立伊丹北高等学校
講師=吉江麻樹 日程=通年

■プール学院高等学校
講師=菅原ゆうき、鈴木あくり 日程=通年

■四天王寺中学校
講師=榎村千晶、三坂賢二郎 日程=通年

■近畿大学
講師=島守辰明 日程=通年

■クラーク記念国際高等学校芦屋キャンパス
講師=中川義文 日程=通年

■大阪アニメ・声優&eスポーツ専門学校
講師=中川義文 日程=通年

■ヒューマンアカデミー神戸校
講師=眞山直則 日程=通年

■ABCみかげ保育園
講師=亀井妙子 日程=通年

■児童劇団リトル・ぐらん
講師=風太郎 日程=通年
会場=橿原市新沢地区公民館

■やんちゃんこ劇団
講師=風太郎、吉江麻樹、有川理沙 日程=通年

■コトリ会議
客員=原 竹志 日程=通年

■豊岡市新任職員研修
講師=菅原ゆうき 日程=24.4.3
会場=豊岡市健康福祉施設多目的ホール

■兵庫県立西宮北高等学校 文化祭上演指導
講師=孫 高宏、今井佐知子
日程=24.4.17、5.8、27、29、6.8

■兵庫県立夢野台高等学校
教育・心理類型 表現力育成向上ワークショップ
講師=菅原ゆうき、三坂賢二郎 日程=24.4.22

■兵庫県立鈴蘭台高等学校 文化祭上演指導
講師=島守辰明 ほか 日程=24.4.26、5.31

■西宮市立西宮東高等学校 文化祭上演指導
講師=島守辰明 ほか
日程=24.4.27、5.29、6.5

■キング醸造(株)新入職員研修
講師=中川義文 日程=24.4.25

■ワークショップ にほんごであそぼう! in 加東市
講師=菅原ゆうき、木村美憂ほか
日程=24.5.26
会場=兵庫県立嬉野台生涯学習センター(加東市)

■関西学院大学文学部 人文学総合
講師=島守辰明
日程=24.5.27、6.3、10、17、24

2023年度外部出演等

■コトリ会議「雨降りの又日」
出演=原 竹志 日程=24.3.9~30
会場=扇町ミュージアムキューブ(大阪市)

■尼崎市子育てサークル実行委員会
おはなしBOX
企画・出演=風太郎、吉江麻樹、有川理沙
日程=24.3.28 会場=尼崎市立すこやかプラザ

- 舞台・テレビ・ホテルイベント等の照明・音響・映像による空間演出
- イベントの企画・制作・運営・進行
- デジタルコンテンツ業務の提案及び制作
- 照明・音響・映像演出設備の企画・設計・施工・メンテナンス
- 照明・音響・映像機材・資材の販売・レンタル
- 環境事業(太陽光発電・燃料電池・省エネ機材等)のシステム設計・施工・メンテナンス



HEART-S Group (株)ハートス (株)東京ハートス (株)九州ハートス (株)沖縄ハートス

お問合せ先: 株式会社ハートス 本社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1丁目6番29号 フォーキャスト堺筋本町10階 TEL 06-6265-2651

シリーズ探訪 49 やっぱりここが好き!!

数年前まで某ホールで働いていた。コンサートやオペラ、ミュージカル、バレエ…プロの公演から高校生の演奏会、多くの公演に携わり、いろんな経験をさせていただいた。たくさんのお客様やスタッフに恵まれて充実した生活を送っていたが、わけあって転職を決意した。辞めると決めたものの、何をしたいか、自分に何ができるのか。楽しかったことを思い出して後ろ髪を引かれる思いもあったが、取り合えず別のことをしてみたい! ゆっくりしたい! と、きっぱりホールでの仕事をやめた。

知り合いのケーキ屋で働くことになった。性格上、細かいことは好きなので、「ケーキ作りもできるだろう。」くらいの気持ちで色々挑戦してみた。しかし、どうにも解決できない問題に直面した。私は手が温かい。うす〜く作られたチョコレートの飾りをケーキにつける。持ったそばから体温で溶けていく。ケーキに付けるまでに穴が開いてしまった…店主には笑われるだけで、チョコレートは任せられなくなった。そのケーキ屋は小さな個人店で、お客様はご近所の方がほとんど。スタッフも和気あいあいと楽しかった。けれど、ケーキは作れない。自分のいるべき場所ではないような気がした。コロナで飲食店だけでなく世の中全てが不況の中、【働く】ということを含めて以上で考えた。自分がやりたいことってなんだろう。やりたいことと、やれることのギャップも、チョコレートのおかげでよく理解できた。

ピッコロシアター業務部 丸尾 絢子

「やっぱり、ホールで仕事がしたい!」そう思ったとき、ピッコロシアターの求人を探りに巡り合った。今まで動いていたコンサートホールとは違い、演劇がメインのホール…畑違い、規模の違いに不安があった。それでも、挑戦してみたい。そんな気持ちが大きかった。

そんな不安を一掃してくれたのは、懐かしい空気感だった。朝一番に緊張した様子で楽屋入りする小さなバレリーナ、忙しそうに駆け回るお母さま方。なによりも、帰って来た! と一番感じたのは、客席の空気に触れた時だった。そういえば、私がいつも開場前にやっていた儀式を思い出した。お客様をお迎えする直前に客席に入って深呼吸。リハーサルが終わったこのタイミングは、舞台上には出演者や舞台スタッフもほとんどいない。すう〜と息を吸い込むと、劇場独特の香りがする。いろいろなおいが混ざった…なんとも言い表せない独特な香り。この香りは、不思議とどのホールに行っても同じ(と思う)。誰もいないこの空間を独り占めし、お客様で満員になることを想像する。自分のモチベーション次第で公演の雰囲気も変わることを感じていた。冷静さと落ち着きを自分のなかに取り込んで、お客様をお迎えしていたことを思い出した。ピッコロシアターの職員になった今、するべき仕事が変わっても、公演にかけたい思いは変わらない。公演前には他の職員に悟られないよう、密かに客席を独り占めできるタイミングを見計らっている。

ピッコロ劇団・劇団員

劇団代表	岩松 了		
劇団員	孫 高宏	森 好文	亀井妙子
	森 万紀	吉山直樹	真山直則
	原 竹志	吉村祐樹	今井佐知子
	櫻村千晶	風太郎	岡田 力
	今仲ひろし	島守辰明	中川義明
	浜崎大介	野秋裕香	政香里沙
	三坂賢二郎	木之下由香	菅原ゆうき
	堀江勇気	木村美憂	有川理沙
	鈴木あぐり	谷口 遼	岡島大祐
	木下結美	中島深志	中島肇音
	銭 大亮	中田綾乃	

ピッコロシアター・職員

館長	林 隆之		
副館長	石田勝則		
管理部	田路勝彦	酒井康裕	石井利幸
	田中久一	山中彩希	櫻井豪樹
	中西由香		
業務部	梶原由美子	西岡宏季	古川知可子
	木屋村優花	有馬真帆	小西風光
	横山海大	橋本実弥	丸尾絢子
劇団部	田窪哲旨	磯部 聡	新倉奈々子
	河東真未	山中麻由	

(2024年4月1日付)

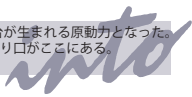
編集後記

言いたいことが言えない世の中になってきていると思う。ネット社会になってどの組織もハッシュタグを恐れ、クリーンなイメージ作りに必死だ。間違いは大事だが、それが優しさからなのか、世間体を気にした取り繕いなのか。それを逆手に取って「ハラスメントだ」とマウントを取る人も多い。イジメられてる子を見て「弱い者イジメすんなや!」と声高に心から言っていた時代が懐かしい。(風)

このintoの編集担当になってからちょうど1年、あっという間でした。激流にのまれるように日々を過ごし、まわりの環境も大きく変化。様々な場面で、沢山の方々に助けていただきました。その優しさに触れる度、私もいつか、この“優しさのバトン”を繋いでいけるようになりたいという気持ちになります。感謝の気持ちを忘れずに、自分にできることを少しずつ頑張ってください。(有)

into (イントゥ)

かつて、私たちは壁を越えようとして、夢で出口を探していた。それは、確かに多くの新しい舞台が生まれる原動力となった。そして今、私たちは崩壊した壁の前で直感する。演劇を体温から捉え直すことから始めよう。その入り口がここにある。はからずも何かに出会い、そのことに夢中になるために。



兵庫県立尼崎青少年創造劇場 (ピッコロシアター) 事業運営方針

兵庫県立尼崎青少年創造劇場は、青少年の自由な創造活動を促進し、あわせて県民文化の高揚を図るため、「音楽、演劇、舞踊等の創造活動」「コミュニケーションづくり」「創造活動のための鑑賞会・研究会等の開催」「音楽、演劇、舞踊等の調査研究資料の収集・提供」などを行う目的で、1978年(昭和53)に開館しました。これまで、「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の開設や、全国初の県立劇団「ピッコロ劇団」の創立・運営など、全国でも先進的な事業を行っています。

阪神・淡路大震災の経験もあって、芸術文化を人々の暮らしに欠かせない公共財としてとらえ、演劇を中心とした舞台芸術創造活動の活性化を図ると共に、多くの人たちの社会参加の機会をひらく社会的基盤として充実させるため、以下の運営方針のもとに事業を進めています。

1 上質な演劇を創造し発信します

- 専属のプロ劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」(1994年創立)を持つ演劇の拠点劇場として、全国の劇場と連携し、優れた舞台作品の創造・発信に取り組みます。
- ファミリー劇場や学校公演など、子供・青少年向けの作品を製作し、広く地域へ届けます。
- 関西の演劇人材を結集したプロデュース作品を製作し、関西の演劇創造の活性化を図ります。
- 全国各地から発信される優れた舞台芸術を紹介し、鑑賞の機会を提供します。

2 感動を共有できる“人と場”を育てます

- “観る”喜びと“創る”喜びを体感していただける開かれた劇場を目指します。
- 舞台芸術の専門知識を持った職員が常駐し、地域の舞台芸術の創造や表現活動を支えます。
- 「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」が、地域の芸術文化活動を支える人材を育成します。
- 参加型のフェスティバルや実技教室、文化セミナーなど、舞台芸術の創造と交流の場を広げます。

3 演劇の力を活用して地域づくりを進めます

- 地域の文化資源の活用や、住民との協働による創造活動を進め、地域の活性化に貢献します。
- 表現力やコミュニケーション力を育むワークショップの実施や、教育現場での演劇の活用など、地域の未来を担う人材育成に貢献します。
- 舞台芸術を通して、高齢者・障害者・子育て世代など、多様な方々の地域コミュニティへの参加促進に努めます。
- 「兵庫県立ピッコロ劇団」が、様々な地域に出かけ、舞台芸術や舞台創造の感動に触れられる場を広げます。

4 幅広い参画と協働のもとに取り組みを進めます

- 舞台芸術を支える多くの方々の方々の参画のもと、行政・自治体・地域文化団体、大学等の教育機関、他の文化施設などとの協働を促進します。
- 阪神・淡路大震災時の経験を踏まえ、東北との連携をはじめとした広域的な交流を促進し、兵庫から全国へ広く舞台芸術の魅力を発信します。

TOTAL DESIGN & PRODUCT REALIZATION

■ 事業内容

各プロジェクトの企画・デザイン・設計・製作・施工・監理・運営・進行業務

● 展示 各種美術展/資料館/他

● 施設 テーマパーク/デパート/ショップ/ショールーム/他

● 景観 シンボルモニュメント/街並演出/他

● 催事 スポーツイベント/地域イベント/式典・コンベンション/博覧会/販売促進イベント/他

● 舞台 コンサート/ミュージカル/舞台機構/演劇/オペラ/ステージショー/他

● 映像 テレビ美術/CG/CM/映画/他

株式会社つむら工芸

一級建築士事務所

大阪/〒550-0003 大阪市西区京町堀2丁目12番24号 TEL.06-6448-2761 (代)

東京/〒105-0014 東京都港区芝2丁目2番14号 (一級ビルディング) TEL.03-6809-5222 (代)

工場/〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2丁目8番31号 TEL.072-654-0089

http://www.tsumura-kogei.com

総合建設業

〈関連事業〉カラタニエンジニアリング・トータルサプライ・
ゴジョー・デンマークハウス・柄谷倉庫物流・
昌平・昌永不動産



KARATANI

“IF”から“TRY”に。カラ タニ
株式会社 柄谷工務店

取締役社長 柄谷 順一郎



本 社 / 尼崎市玄番南之町4番地 電話 06(6415)2800(大代)
支 店 / 大阪・神戸
営業所 / 西宮・高砂・西播磨